

桜咲く季節、恒例となった「千島桜頒布・募金 ACT」を4月26日（金）から4月28日（日）の3日間、寒地土木研究所敷地内で開催しました。

国内で札幌が南限と聞く千島桜を地場の桜として広めたい。そんな想いから始まり寒地土木研究所構内の桜から種採取➡種蒔き➡発芽➡ポットへ植替、このプロセスで10センチ程に成長させた苗の市民頒布も今年で3回目です。多くの市民は初めて手にする千島桜苗ですが中に「去年貰った。25センチ位に成長している。」と嬉しいお話もお聞きしました。

今年の苗は昨夏の天候不順の影響か細く頼りないモノの割合が多く“頒布に不適”とはじいたものがかなりの数有り、準備数は前年より少ない約450個。初日、2日目共に曇天で時折小雨、加えて両日共気温10度位と寒く来場者まばら。一時広い駐車場に車両4台。その内2台が我がクラブメンバー車両の時も……。文字通り手持ち無沙汰状態で初日、2日目合計の頒布数も約120個位に留まり、最終日を前に残約320個。どうしようか……。農園持ち帰りやむなしと覚悟もしましたが「止まない雨は無い。」

3日目快晴・気温20度、多くの来場者とメンバーの精力的な声掛け・説明によりひとつ残らず頒布出来ました。皆様お疲れ様でした。そして頒布した苗達が成長し、2~3年後に花を咲かせ「北国固有の千島桜を広め愛されたい……」という我々の願いが実をむすぶ事を願った2019千島桜頒布・募金 ACT でありました。

MC 委員長代理 工藤 修

初日



2日目



3日目



添え木ある3本が2017年記念植樹したもの。70センチ程に成長。花は来年？

